



● 広報

おくに



2018
JANUARY
No.759

1

「初冬の飯豊連峰」 白い森まるごとブランドプロジェクトメンバー 齋藤 幸平さん（東原）撮影



新春特集

白い森まるごとブランド構想と町の未来 ～白い森PJメンバーが熱く語る～

白い森PJ始動

司会 新年明けましておめでとうございます。本日は、仁科町長を囲み、白い森まるごとブランドプロジェクトを通じたこれからの白い森のまちづくりについて皆さんに語っていただきたいと思います。はじめに、このプロジェクトに参加したきっかけについてお話してください。

齋藤 私はもともと観光に興味があり、梅花皮荘に勤めていた時に小国町には全国各地から観光客が来ているということを知りました。今後さらに高齢化が進み町の観光を支える人が少な

住民の生活満足度の向上と町外における小国町の認知度向上を図り地域経済の発展を目指す「白い森まるごとブランド構想」。昨年8月に公募により町民15人をメンバーとする「白い森まるごとブランドプロジェクト（以下「白い森PJ」という。）」を立ち上げ、白い森まるごとブランド構想の実現に向けて取り組んでいます。白い森PJメンバーの中から5人のかたに、これまでの活動で見えてきた小国町の魅力やまちの未来を語っていただきました。

くなる中、町として観光にどのような取り組みがほしいのかを話し合える場所がここにあるといいなと思い参加しました。

今 私は、プロジェクト結成前の会議に、クアーズテック社員という立場で参加したのがきっかけです。その会議では、生産者や協力隊など様々なかたがいて、皆さんの小国町に対する思いが熱く、まるごとブランド化のビジョンをしつかり持っているということに衝撃を受けました。その時は、私が参加していたのだろうかと思う不安な気持ちでしたが、皆さんの話を聞いて、小国町には一体どんな素晴らしいことがあるのかを自分



町長が白い森まるごとブランド構想を説明

で発見したいと強く思いこのプロジェクトに参加しました。

栗田 7年前に小国に戻って来たときに、私が覚えている中央通り商店街とはまるで違い、すごく寂しい町になっちゃったなという印象を抱きました。結局何もできずにいたのですが、広報を何気なく見ていたら、このプロジェクトを発見して、これしかないと思い、ここに関われば絶対に何かひとつ成し遂げられると思って参加を決めました。

井上 私は、20代の頃からまちづくりに関わってきましたが、形として残っているものが意外

と少なく、それが後悔ではないですが、何とかできないかなという思いがありました。そこで今回、若い時とは違う視点でまちづくりに関われるのではないかと思います。

根本 私は昨年7月に地域おこし協力隊として小国町に来て、白い森まるごとブランドプロジェクトがあると知り、皆さんがブランド化したいと思っている物事を、町民のかたと違う視点で見たり、意見を言えたりすることで白い森のブランド化に少しでも貢献できたらいいなと思い参加しました。

司会 今の皆さんの話を聞いて、町長いかがでしょうか。

町長 白い森まるごとブランドプロジェクトに多くのかたに参加していただき、大変嬉しく思います。このプロジェクトを始めるきっかけになったのが、町内の活気がなく将来に対する閉塞感を感じ、この状況を変えなければと考えたからです。私が考えているのは、小国のいいものを『白い森』というブランド、名前を通して、世に知らしめていきたいということで、堅苦しく考えているわけではなく、小

国にあるいいものを磨いて世の中に出すということです。そして、小国町と言えば『白い森の●●があるよね』となればいいと思います。皆さんの熱い思いが形になれば、白い森まるごとブランド構想というのは少しずつ進むと思います。アイディアをたくさん出していただき、白い森のブランド化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

白い森の国を 見つめ直す

司会 これまでの様々な活動を通して感じたこと、考えたことを教えてください。

今 フィールドワークで南部方面に行きましたが、天狗橋から見た川の流れや色に心が洗われ、森林セラピー体験では実際に癒し効果を体感できました。その後も3回ほど行きましたが、これほど魅力的でまた行きたい、また何か感じ取りたいという気持ちに自然となれることに驚き、小国にこんな素晴らしい場所があったのだと思います。

白い森PJ活動経過

白い森PJでは、これまでに計9回のミーティングやフィールドワークを実施したほか、小国の特産品PRのため、東京青山ファーマーズマーケットへの出店、東京都稲城市若葉台団地との交流事業などを展開しています。

■町内での活動

●8月2日(水) アスモ

白い森まるごとブランド構想について仁科町長から講話。メンバーが思い描く白い森ブランド、10年後の小国町像などを交えた自己紹介。

●8月19日(土) 電興社寮

白い森のたからものさがしと題し、メンバーが意見交換。これを通じて新たな発見も。

●9月10日(日) 南部地区

南部地区を中心にフィールドワーク



白い森PJミーティングの様子（電興社寮）



■今 玲子

小国小坂町出身。平成8年からクアーズテック(株)小国事業所に勤務。総務担当で主に人事・教育を担当。

た。そして、この体験から得た思いや小国の素晴らしさを多くの人に伝えて、みんなを巻き込みたいという気持ちが湧いてきました。

根本 私もこの活動で町内の様々な場所に行き、小国を知ることができました。これを町外に広めるためにはただ知った物を発信するのではなく、より深く知らないブランド化というものが薄っぺらになっってしまうと思います。ルーツの詳しいかたに話を聞くなど、踏み込んでよく知って伝える必要があるのかなと思います。

町長 民芸品やお菓子にしても歴史があつて今のものができているわけです。根本さんが話したように、地元の人の話を聞いて、その歴史を知ることによって、その重みや質が高められるのではないかと思います。また、町にいい会社や物があるのにもっと宣伝できているといいので、もっともつと宣伝する必要があります。最近の例で言えば、『東北食べる通信』です。これは地域おこし協力隊の宮崎美穂さんがプロデュースして、樽口のナメコやマタギを広めました。また、新潟日報が出しているキャレルという情報誌に小国町のソバを扱うお店が掲載されたほか、最近では、金目そばがJRの大人の休日倶楽部に載りました。掲載後は多くの人が来ているという話



■小国町長 仁科 洋一

て、その歴史を知ることによって、その重みや質が高められるのではないかと思います。また、町にいい会社や物があるのにもっと宣伝できているといいので、もっともつと宣伝する必要があります。最近の例で言えば、『東北食べる通信』です。これは地域おこし協力隊の宮崎美穂さんがプロデュースして、樽口のナメコやマタギを広めました。また、新潟日報が出しているキャレルという情報誌に小国町のソバを扱うお店が掲載されたほか、最近では、金目そばがJRの大人の休日倶楽部に載りました。掲載後は多くの人が来ているという話



■齋藤 幸平

東原出身。梅花皮荘勤務時にクマの顔出しパネルを制作。現在は野菜づくりやカメラマンなど幅広く活躍。

ですからそれだけメディアの力は大きいですし、見てもらうことによってブランドが磨かれていくと思いますね。

齋藤 私はこの活動に企業のかたや生産者、地域おこし協力隊など様々な業種の人が集まっています。いろんな目線からの意見が出てくるのが面白いと感じています。また、活動の中で町のPRのために東京に行ってきたことで、小国の特産品に対する反応や他地域の生産者の人との色んな話ができました。今後、小国町のことを町外の広い市場で販売するという点で、東京に行ったことで改善点や小国の物の強みを感じてくれることができました。

栗田 私も南部に行ったとき



フィールドワークでは森林セラピーも体験しました

◎12月1日(金) 総合センター

- ク。
- ◎9月20日(水) アスモ
地域ブランディングやふるさと納税返礼品のリニューアルについて勉強。
- ◎10月17日(火) 総合センター
白い森まるごとブランド構想を進めるうえで考え方やアイデアの出し方などについて勉強。
- ◎10月31日(火) 総合センター
ふるさと納税の新たな返礼品に体験型の返礼品や小国産食材を詰め合わせた商品、つる細工のセミナー製品などを提案。
- ◎11月11日(土) 電興社寮
ブランドストーリーの素案作りのためのフレーズや素材、考え方について提案。



■栗田 陽子

尻無沢出身。7年前に小国町にUターン。6年間のコンビニ勤務後、昨年からアスモ内まちの駅に勤務。

に、本当にこんなに綺麗などころがあるのだと感動しました。また、青山ファーマーズマーケットに行ったとき、隣に出店していた仙台の女性と話をし、山形県にはよく行くけど今まで小国町には行ったことがないと話をしていました。そこで私はこの活動で南部に行っていたので、パンフレットを見せながら自信を持ってPRすることができました。私の話を聞いて興味をもっていただき、数日後に友達を連れて実際に遊びに来てくれて、私も小国ファンを増やすことができました。

司会 PRには色々な手段があると思いますが、何よりも口コミは大きいですね。



■井上 昌樹

岩井沢出身。平成11年から家業の農業に従事。平成28年から野沢酒造店の『桜川』の酒米作りを始める。

井上 以前、仁科町長から『ベンチマーク』『物事の基準』という言葉を聞きました。例えば小国で生まれて町外に行つて帰つてきて、比較対象ができることはいいいことだという話でした。今回のメンバーは職種や年代も様々で価値観も違いますが、同業者で話をするとお互いにわかつている部分は省略することが多く、実はあまり踏み込んだ議論にはならないことがあります。でもここでも、言葉ひとつとっても説明しないとわかりませんよね。そうゆうことつて本当に大事なと改めて感じました。この活動を通して、将来年を重ねていったときにどんな町になるかがすごく楽しみです。



■根本 俊輔

東京都出身。新股在住。地域おこし協力隊。東部地区で活動中。着任前は映像制作会社でカメラマンとして活躍。

ですし、ブランドを作るとするのはひとつの糸口であつて、最終的にはまちづくりや人づくりにつながっていくべきいいなと考えるながらこの活動を毎回非常に楽しみにしています。

町長 私が話したことを覚えていてくれて、嬉しいです。同業者で話をしていると踏み込んだ議論にならないとありましたが、やはりスタンスを変えて人の話を聞くのはすごく重要だと思いますね。そして、体験から来る話は、人に話すときに説得力があるので、色々なことを体験してほしいですね。皆さんに小国の良さを知ってもらい、バツグンサウンドや歴史をお年寄りから聞いて人に伝えるということがあれば、より説得力や感



青山ファーマーズマーケットに出店

東京都稲城市若葉台団地
小国産品の安定的な販路の開拓とともに都市部との定期的な体験・交流事業を通じた楽しみづくりなどの可能性を探る場として、東京都稲城市若葉台団地での交流・PR活動を実施。

◎11月3日(金)

小国の特産品PRのため東京青山ファーマーズマーケットに出店。本町特産品の販売PRとともに、新商品販売に向けた、味や値段設定などの調査を実施。

東京都渋谷区青山

◎10月21日(土)～22日(日)

■町外での活動

◎12月20日(水) アスモ
ブランドストーリー案と新たなふるさと納税返礼品の検討。

動を呼ぶのではないかなと思いますね。

これからの白い森

司会 これまでの活動を踏まえながら、これからのまちづくりに寄せる思いをお話してください。

根本 今後はこのプロジェクトメンバーだけではなく、5年10年先の町の姿を示して、子どもからお年寄りまで向かう方向や意識を統一してやっていくことが大事になると思います。また、



白い森PJミーティングの様子（アスモ）

地区がバラバラになっている印象があるので、地区の垣根を越えてやっていきたいと思っています。私はブランド化のこと、町全体や各地区の良さを、映像という形で残して町内外の多くのかたの目に触れるように頑張りたいなと思います。

栗田 今後さらに高齢化社会になる中で、お年寄りが生きがいを持つて楽しく過ごせる町になつてほしいと思っています。先日、木工細工をしているお年寄りのかたが、アスモの場所を貸してほしいと来て、展示だけでなく販売もしてみても話をしたのですが、こんなもの売るものじゃないし値段のつけ方もわからないから見てもらえればいいよと話していました。場所を貸すにはお金がかかってしまいますので、自由に使えるスペースがあればお年寄りが元気になる様々な活力につながるのではないかと思います。お年寄りが元気に活躍できる、そしてそれを手助けできる体制がある町になつたらいいと思っています。

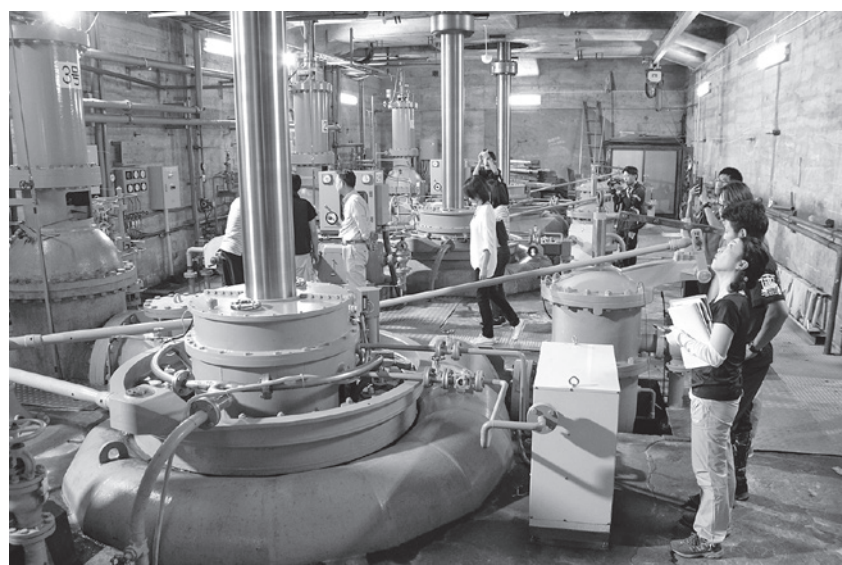
町長 やはりお年寄りが元気で動けるうちは活躍できて、満足感が得られる場所を作る必要

性がありますね。そのためには足ですよ。昨年11月に長沢の旧あさひ保育園を拠点に、地域内交通の実験をしましたが、何らかの形で高齢者の足になる交通手段を確保しないといけないと思います。大変いい話を伺えました。

司会 井上さんはいかがでしょうか。

井上 私は年相応のまちづくりとの関わり方というものを考えています。今の私はこれまでの経験や知識から少し落ち着

いて一步引いた視点で見えています。私には子どもがいるので、福祉や教育についても関心があるのですが、年代によって何に重きを置くかは変わると感じます。だからその感覚を大事にしたいですし、皆さんが色々考えていることを取り入れて、多角的な視点で物事を見られるようにしたいです。そして、形として残したいという思いがあり、



昭和13年に操業を開始した長者原発電所を見学

昨年から野沢酒造店の桜川の酒米を作っています。小国町と言えこれだというフラッグシップになる物、それを持つていくとみんなに喜んでもらえて、これ小国の物だねとわかる物、目に見える物を作り上げたいという思いが非常に強いです。

町長 先日、置賜地域の観光に関する会議で、参加者から『小国町には桜川があるでしょ。出

羽桜と小桜の3つを3桜として春先に売ろうよ』と言われました。すごいアイデアを出すなと思いましたが、春に桜といえば日本人受けはいいですよ。本当にちよつとしたアイデアですけれど、すぐいい発想ですよ。こうしたアイデアをうまくブランドにつなげていくことは重要だと思いましたね。

司会 大人の休日倶楽部には野沢酒造店さんも掲載されて、問い合わせも増え、実際に買いに来るかたもいて、それが励みになると話されていました。色々な可能性がまだまだあつて、皆さんのアイデア次第ではもっと面白いことができるのではないかと思いますね。

町長 最近では、事業をやる場合にはビジネスとして成立しなければ続かないとよく言っています。利益を生み出すビジネスとして続かなければ、面白くないし励みにならないですよ。そう考えると、単純にブランド化と言えはいいのですが、簡単にはいかないと思っています。白い森まるごとブランド構想も次につながる好循環を生むものにしていきたいですね。

齋藤 僕も小国町に戻ってきて知らない場所や魅力がいっぱいあるのだなと思いました。そうした魅力や場所を知らない人はたくさんいると思うので、この町の人、住んでいる人が小国町のことを好きになることが一番大事なのかなと思います。何も知らなかった人や小国の魅力をまだ知らない人が、少しずつ小国町のことに参加する。そして町民を巻き込んでこの活動を大きくしていきたいです。



ロゴマークが入ったスクールバスに乗り込む子どもたち

感覚もあると思います。私はこの活動で皆さんの意見に圧倒され、劣等感を抱くこともありましたが、同時に皆さんと同じ立場に立ちたい、もつと小国のことを知りたいという貪欲な気持ちで大事にしています。まずは自分を磨くこと、そして色々なことを知り、その中で自然とブランドアイテムを提案できるようにすれば最高かなと思っています。色々な人を巻き込んでエネルギーギッシュな活動をして、楽しみたいですね。その先にブランドの新しい形が見えてくるのではないかなと思います。今は何かを考えてアイデアを出すよりも、まずは町民の皆さんを巻き込む。そこに意義があるのかなと思います。

町長 色々な人を巻き込んで町民の運動にしていこう。みんなで作ることがすごく重要だと思います。何を白い森と言うのだろうかというところからみんなに理解してもらい、徐々に町民皆さんが白い森にプライドを持つことが大事ですね。地道な活動ですが、少しずつPRしていきたいと思っています。白い森のブランド化は10、20年のサイクル

ルで考えていますが、人口減少を考えると20年後にしつかりしたブランドができていけば、観光の町になると思います。20年という長いので、10年を目安にして、白い森といえば小国の人全員がわかり、町外の人に自慢できるような町にしたいですね。様々なところに研修に行く、成功している市町村のかたはよくしゃべります。よくしゃべるし自慢する。私たちもそうありたいですね。

司会 スクールバスをはじめ今後徐々に白い森のロゴマークが目につくようになりますし、大人も子どもも白い森を説明できるようになって、栗田さんのように町外のかたにPRできるようになれば素晴らしいですね。町民の皆さんを巻き込んで一緒に白い森ブランドを作りあげたいという思いが、皆さんから伝わってきました。

白い森ブランドストーリー

町民総選挙

を実施します。

詳細は広報2月号にて。



おぐにバレースポ少が全国大会出場を勝ち取る ～第15回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会山形県予選会優勝～

おぐにバレーボールスポーツ少年団が、12月10日に大江町体育センターで開催された、第15回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会山形県予選会で見事優勝し、全国大会への切符を勝ち取りました。

大会では、予選から決勝まで1セットも落とさずに優勝しました。全国大会は3月25日から28日に群馬県で行われる予定です。

おぐにバレースポ少の全国大会での活躍が大いに期待されます。



県大会登録メンバー（敬称略）

①遠藤 凪咲 ②伊藤 ちひろ ③小林 明莉 ④加藤 帆乃夏
⑤丹 麻里花 ⑥佐藤 鈴 ⑦杉山 由菜 ⑧安部 茜
⑨渡部 綾女 ⑩仁科 美桜 ⑪舟山 葵 ⑫山口 寧音
監督：齋藤 秀隆 コーチ：安部 慎悟 マネージャー：齋藤 潤

小国町は2人が受賞 ～税に関する表彰式～

長井税務署（根本修署長）の平成29年度税に関する表彰式が、11月15日に長井市のタスパークホテルで行われました。

中学生の部では、小国中学校3年の岩田舜平さん（緑町）が小国町長賞を、また高校生の部では、小国高校2年の井上陽菜さん（緑町）が、山形県置賜総合支庁長賞をそれぞれ受賞し表彰状と記念品が贈られました。



小国中3年
岩田 舜平 さん



小国高2年
井上 陽菜 さん

鍛えた技を競う ～白い森杯柔道大会2017～



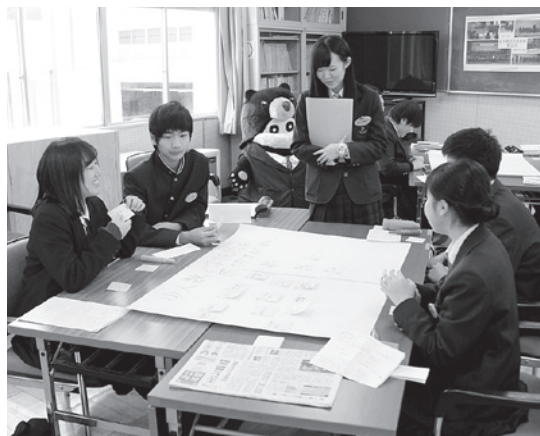
白い森杯柔道大会2017が、11月25日、町民総合体育館で開催され、新潟・山形両県から76チーム約400人が出場しました。

この日は、男子Ⅰ部・Ⅱ部、女子の部に分かれ、それぞれリーグ戦が行われた後、各リーグ上位2チームによる決勝トーナメントが行われたほか、男女混合による新潟・山形各県選抜チームの対戦が行われました。

選手たちは、これまでの稽古の成果を発揮して、互いに譲らない試合を見せたり、見事な一本を取ったりと熱戦が繰り広げられました。

地域に根ざした高校ならではの魅力を生かして ～小国高校と岩手県立花泉高校が交流～

岩手県立花泉高校の生徒、職員11人が、12月15～16日に小国町を訪れ、小国高校との交流を行いました。今年創立70周年を迎えた花泉高校では記念事業として、県外の同規模校の活動を調査し生徒会活動などに生かそうと小国高校を訪問したものです。15日は、歓迎会が行われた後、交流授業として雑穀クッキーづくりをしたほか、白い森木工館で名札と記念コースターづくりに挑戦。また、16日には学校行事の運営方法などに関するワークショップを行い、お互いの学校の良さや課題を出し合い、学校の活性化に向けたヒントを探しながら親睦を深めました。



「雪は楽しいよ！」

緑のふるさと協力隊 やまなか なち 山中 那智

新年明けましておめでとうございます！緑のふるさと協力隊の山中那智です。僕の地元の和歌山では体験したことがない雪景色に日々驚き、感動しています！

11月16日に雪が積もりました！和歌山ではほぼ雪は降りませんし、しかも11月に雪

が降るなんて考えたこともなかったので、とてもテンションが上って、一人で雪だるまを作ってしまった！朝起きて車に積もった雪を下ろしながら、雪国に来たんだなと改めて実感しました。僕は雪が楽しくてついつい遊んでしまいます。そんな僕を見た小国町の人は「雪が楽しいのは今だけ。すぐに嫌になる。」と言います。そんな現実は見たくない！もっと雪国ならではの雪の遊び方とか楽しいことを教えてください！



「冬の大映像まつり」

地域おこし協力隊 のぐち たつひこ 野口 達光

明けましておめでとうございます。11月に実施した空白地運送実証実験も無事終了し、旧北部小中学校で行われた映画上映や体操教室、老人会の集まりへの足として、延べ63人のかたに利用していただきました。12月からはアンケートなどによりご意見を伺いながら、今後の取り組みに向けて検討を行っています。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、平成27年12月から開催している旧あさひ保育園でのお茶飲み会も3年目を迎えました。今年は「北部ん家～冬の大映像まつり～」として1月から小国町内で撮影された様々な映像を毎週上映させて頂くことになりました。懐かしい映像をみながら昔の小国町のお話を皆さんから聞かせていただきたいと思います。良い一年となりますように。今年もよろしくお願いします。



平成29年度小国町議会

第7回臨時会・第8回定例会

平成29年度小国町議会第7回臨時会が11月26日に、第8回定例会が12月7日から13日まで開催されました。平成29年度一般会計補正予算などあわせて15議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

【第7回臨時会】 一般会計予算に

420万円を追加

11月11日の未明、強風により温水プールの屋根が損壊したため、この修繕に要する経費を措置しました。

■被害状況は、15平方メートルにわたり屋根のトタンと下地板が飛ばされたもので、調査の結果、根本的な復旧には長期かつ大規模な改修が必要ことから、降雪期の被害拡大を防止するための緊急対応として、応

急的な修繕に要する経費420万円を追加しました。

【第8回定例会】 一般会計予算に

1億205万円を追加

一般会計では、人事院勧告に伴う職員の給与改定による人件費の追加、低所得世帯等への灯油購入費の助成、民間保育所への入所委託にかかる公定価格の改定及び入所児童数の増加等に伴う委託経費の増額など、1億205万円を追加し、補正後の予算総額は62億9756万9千円となりました。

■民生費では、低所得高齢者や障がい者世帯等の灯油購入に要する経費の一部を、県の補助事業を活用し助成することとしたほか、住宅道路の除雪支援についての公距離基準を、これまでの公

道から玄関まで「概ね10メートル以上」を「概ね5メートル以上」に緩和し、行政サービスの拡大を図ることとしました。

■農業費では、本町において昨年5月末からの天候不順が影響し、稲作農家の経営に深刻な打撃となつて

ことから、来年度以降の持続的な農業経営を確保するため、水稲作付面積が1ヘクタール以上の農業者等に対し、営農活動に必要な借入金の利子補給を行うとともに、平成30年産米の作付に係る水稲種子の購入費に對し、町独自の支援をすることとしました。

■商工費では、梅花皮荘の石風呂浴室内上部の木壁が、経年劣化により腐食し、落下の危険性があることから修繕することとし、所要の経費を措置しました。

■消防費では、黒沢、杉沢、舟渡地区に設置している警鐘台が老朽化により腐食し危険な状態であるため、この撤去に要する経費を措置

しました。

■教育費では、スポーツ交流センターアスネットに設置している送水ポンプ制御盤に不具合が生じていることから、修繕に要する経費を措置しました。

小国町病後児保育室

設置条例の制定

子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るために、「小国町病後児保育室」の設置に関し、必要な条例の設定を行いました。

■病後児保育室の概要は、町内に住所を有する満1歳から小学校就学前の児童で、病気の回復期にあり、集団保育や家庭における保育が困難な児童を対象に受け入れるもので、健康管理センター内に設置しました。健康管理センター森のホールの一部を改修し、施設整備を進めてきましたが、この度工事が完了し、平成30年1月から受け入れが可能となったことから、条例を設定しました。

小玉川青年団イチコロが輝けやまがた若者大賞を受賞

小玉川青年団イチコロ（藤田梨絵代表）が、輝けやまがた若者大賞を受賞しました。

この賞は、山形県の地域活性化に寄与する若者の功績や成果、地道な努力を顕彰し、若者が活躍できる風土づくりの推進を目的に平成23年度に創設されたものです。

小玉川青年団イチコロは、平成24年1月に活動を開始し、泉岡・長者原・小玉川・六斗沢などの若者

19人で、雪を観光資源として活用したイベント「雪の中の大冒険」の企画・運営や早稲田大学学生サークルとの交流、小玉川地区の伝統行事である「小玉川熊まつり」への協力、秋の紅葉シーズンに向けた地域内のゴミ拾いなどの活動を展開しています。

特に「雪の中の大冒険」は、平成



24年3月に第1回を開催して以降、毎年開催しており、年々その規模を拡大しながら、イチコロメンバーだけでなく、地域住民を巻き込み、現在が地区の一大イベントとして定着しています。

小玉川青年団イチコロの「雪」を観光資源として活用した取り組みが、地域活性化に大きく寄与していると高く評価されました。

熱は下がったが大事をとって保育園を休ませたい。でも、仕事を休めない…

小国町病後児保育室の概要

- 場 所 健康管理センター内
- 職員体制 看護師・保育士 各1人
- 受入人数 1日2人
- 対 象 本町在住の満1歳～就学前のかた
- 保育時間 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前8時～午後6時
- 利用料 1日2,000円（5時間以内の場合1,000円）
- 利用手続 ①健康福祉課での事前登録②医療機関での受診（病名が分からないとお預かりできません）③利用希望日前日午後4時までに電話で予約④利用当日に利用申請書兼連絡票を提出
- その他 詳細は町ホームページをご覧ください。



■利用申込・問合先

小国町病後児保育室（☎090-7070-8691）
または健康福祉課（☎61-1000）へ

小国町病後児保育室が完成

～1月9日から受入開始～

町では、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期にあり、集団または家庭での保育が困難な子どもを看護師と保育士が連携しながら保育する小国町病後児保育室（以下「保育室」という。）を健康管理センター内に整備しました。

保育室は、1月9日から受け入れを開始します。受け入れ可能人数は1日2人で、1回の利用につき連続する7日まで利用可能です。対象は、本町在住の1歳から就学前のお子様です。保育室を利用するには事前登録が必要ですので、健康福祉課に利用登録届出書をご提出ください。



募集

自衛官等募集

■募集 自衛官候補生(男子)

■応募資格 18歳以上27歳未満

■受付期間

①12月9日(土)～1月19日(金)

②1月20日(土)～2月9日(金)

■試験日

①1月28日(日) ②2月18日(日)

■合格発表 試験時にお知らせします。

■問合先 自衛隊米沢地域事務所(☎0238・23・0011)へ

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 1戸(4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

③小坂町勤労者住宅

2DK 1戸(3階)

■家賃 38000円

■対象 町内事業所にお勤めのかた

①③共通

○敷金 家賃の3カ月分

○募集期限 1月10日(水)

○入居時期 1月下旬以降

○問合先 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

置賜広域行政事務組合 指名競争入札参加登録申請の受付

平成29・30年度に行う①建設工事、および②測量・建設コンサルタント業務等、平成29・30・31年度に行う③物品納入・役務提供の追加登録申請を受け付けます。

■受付期間

①②2月1日(木)～2月20日(火)

③1月10日(水)～1月31日(水)

■申請・問合先

置賜広域行政事務組合事務局(☎0238・26・7488)へ
※申請書類等、詳細は申請先

ご案内

家畜の定期報告を忘れずに

次の動物を1頭1羽でも所有するかたは、2月1日現在の頭数等を報告してください。

■対象 牛、鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし、馬、鶏、うずら、あひる、きじ、だちょう等

※ペット、学校や公園での飼育も含みます。

■報告方法 前年に報告されたかたは、1月末に報告用紙が送付されます。(飼育しているのに報告用紙が届かないかたは、ご連絡ください。)

■問合先 置賜家畜保健衛生所(☎0238・43・3217)へ

お知らせ

高齢者の障害者控除 対象者認定制度について

介護保険で要支援・要介護認定を受けた65歳以上のかたのうち、寝たきり・認知症等心身の状況により所得税・地方税法上の障害者控除の対象として認定される場合があります。認定を受けるには、町に申請が必要です。なお、身体障害者手帳等をお持ちのかたは、障害者控除対象者ですので、申請は不要です。

新潟山形南部連絡道路(関川～小国間) についてご意見を聴かせてください

国土交通省では、新潟山形南部連絡道路(関川～小国間)の様々な課題に対応する計画の策定にあたり、地域の皆さまのご意見をいただくアンケート調査を行っています。アンケート票は各世帯に配布していますのでご協力をお願いします。また、山形河川国道事務所ホームページから、インターネットによる回答も可能ですので併せてご利用ください。

■アンケート期間 1月12日(金)まで

■問合先 山形河川国道事務所調査第二課(☎023-688-8940)へ

ち、寝たきり・認知症等心身の状況により所得税・地方税法上の障害者控除の対象として認定される場合があります。認定を受けるには、町に申請が必要です。なお、身体障害者手帳等をお持ちのかたは、障害者控除対象者ですので、申請は不要です。

■認定基準

○65歳以上のかた

○要支援以上の認定を受け、寝たきり・認知症等心身の状況により身体障害者等に準ずるかた

■申請・問合先 健康福祉課長寿介護担当(☎61・1000)へ

1月の保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 1月26日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年9月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 1月26日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年1月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 1月12日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成26年5月、6月、7月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■1月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ) 12/29~1/3はお休み	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

1月7日(日)	米沢 渡部歯科医院	0238-21-1610
1月8日(月)	南陽 すまいる歯科	0238-43-8143
1月14日(日)	南陽 伊藤歯科医院(宮内)	0238-45-2030
1月21日(日)	米沢 足立歯科医院	0238-23-4182
1月28日(日)	高畠 ますぶちデンタルクリニック	0238-52-0014

求 人 情 報

右の表は12月22日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.1

1月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●1月26日(金) 水道料

●1月31日(水) 町県民税、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易下水道、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
荒川興業(株)	製造加工	8人	8:30~17:05他
(有)豊嶋石英硝子	硝子加工	1人	8:30~17:00
(株)コメリ	販売・店舗運営職(リージョナル社員)	2人	8:45~17:45他
日清医療食品(株)仙台支店	(請)調理員、(請)調理師	各1人	5:30~14:30他
社会福祉法人小国福祉会	介護員	2人	6:30~15:30他
長谷川工業(株)	NC旋盤オペレーター、マシニングオペレーター	各2人	8:30~17:00
小国町介護老人保健施設温身の郷	介護員【年度更新】	1人	8:30~17:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士、ダンプ・重機運転士	各1人	8:00~17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	10:00~16:00
大和建設運輸(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
山和建設(株)	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	7:00~17:00他
	土木施工管理技士・建築施工管理技士(一級、二級)【本社】	各3人	8:00~17:00
白洋社産業(株)	重機オペレーター・ダンプ運転手	2人	8:00~17:00
	一般事務、一般事務(パート)	各1人	8:30~17:30他
高橋工務店(株)	土木技術者、建築技術者、一般作業員	各2人	8:00~17:00
日本重化学工業(株)小国事業所	機械整備・修理スタッフ	2人	8:15~17:15
医療法人社団緑愛会満天の家	介護職、看護師	各1人	6:45~15:45他
(有)白い森よこね物産品直売所	販売及び調理スタッフ	2人	9:00~18:00の間の5時間程度
小国食糧(株)	経理事務	1人	8:30~18:30の間の5時間程度
社会福祉法人愛育福祉会すみれ保育園	保育助手	3人	8:00~17:00の間の5時間程度
ヤマト運輸(株)長井支店	集配ドライバー	2人	8:30~11:30他
ALSOK山形管財(株)	(請)車両運行管理業務	1人	5:50~19:45の間の7時間以上

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

小国町スポーツ講演会・やまがた子育て講座

- 日 時 1月27日(土)13:30～15:00
 ■受付時間 13:10～
 ■場 所 おぐに開発総合センター
 ■講 師 山形大学地域教育文化学部
 助教 矢口 友理 氏
 演題「ジュニア期のスポーツ栄養学」
 ■申込締切 1月18日(木)
 ■申込・問合せ 教育委員会教育振興課（☎62-2141）へ

小国町合同就職面接会

- 日 時 1月17日(水)13:30～15:30
 ■場 所 アスモ3階多目的ホール
 ■参加企業 町内企業10社程度
 ■対 象 者 ハローワーク長井またはハローワーク村上に登録する求職者
 ■問 合 先 ハローワーク長井（☎84-8609）
 または産業振興課（☎62-2416）へ

平成30・31年度 国有林モニターの募集

- 募集人員 48人程度
 ■募集締切 平成30年2月9日(金)（当日消印有効）
 ■任 期 2年（平成30年4月～平成32年3月）
 ■内 容 アンケートへの回答、現地見学会・
 国有林モニター会議への出席など
 ■そ の 他 詳しくは東北森林管理局ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。
 ■問 合 先 東北森林管理局企画調整課林政推進係
 （☎018-836-2228）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

- ◇アナログ ビートたけし
 ◇図書室のピーナッツ 竹 内 真
 ◇東京の夫婦 松 尾 スズキ
 ◇マスカレード・ナイト 東 野 圭 吾

休館日 毎週月曜日・祝日

相 談

▽人権相談

- 日 時 1月17日(水)
 10:00～12:00
 ■場 所 アスモ街なかギャラリー
 ■対応者 町人権擁護委員
 ■問合せ 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

- 日 時 1月27日(土)
 10:00～12:00
 ■場 所 役場
 ■対応者 司法書士 舟山健蔵氏
 ■その他 事前に申込みが必要です。
 ■申込・問合せ 町民税務課町民生活担当へ

小国町立病院看護師募集 ～募集人員を満たすまで 募集を継続します～

- 職種と人数 看護師 若干名
 ■受験資格 昭和53年4月2日以
 降に生まれたかたで、看護師資格
 を取得しているかた。
 ■試験内容 書類審査、作文試験、
 面接試験
 ■試験及び採用日程
 ＝1月中申込みの場合＝
 申込締切 1月31日(水)
 試験日 2月11日(日)頃
 合否通知 2月20日(火)頃
 採用日 4月1日(日)
 ■その他 詳しくは町または町立病
 院ホームページをご覧ください。
 ■問合せ 小国町立病院
 （☎61-1111）へ

入札結果情報（平成29年11月21日～平成29年12月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.11.30	平成29年度農地耕作条件改善事業泉岡用 水路整備工事	泉岡	H30.1.15	1,992,000	斎藤建設(株)	1,900,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



